



「ちがいを力に」—世界障害者デーに寄せて—

12月3日は「世界障害者デー」。障害のある人への理解と社会参加の促進を目的に、国連が定めた国際デーです。誰もが安心して暮らせる地域をつくるには、「どうすれば一緒に過ごせるか」を考える視点が大切です。

① 障害は“個人の問題”ではなく“社会の課題”

階段しかない建物に車椅子の人が入れるのは、本人の問題ではなく「環境の問題」。周囲の配慮でできることは広がります。

② “手伝いましょうか?”のひとことがやさしさに

声をかけることで困っている人が助かるだけでなく、自分自身も地域の一員としての自信につながります。

③ 合理的配慮ってなに?

障害のある人が不利にならないよう、必要に応じて環境や対応を調整すること。たとえば筆談やゆっくり話すことも立派な配慮です。

④ 福祉の現場は“共に生きる”場

医療・介護・リハビリ等の現場では、障害のある人と日々向き合い「その人らしく生きる」を支えている。

⑤ “ちがい”があるからこそ、支え合える

すべての人が同じである必要はありません。多様な背景や特徴があるからこそ、補い合い・学び合える社会が生まれます。

【今日からできること】

- エレベーターでベビーカーや車椅子の人を優先する
- 「困っている人」に声をかけてみる
- “できない”ではなく“どうしたらできるか”的な視点をもつ

空き状況						
☆看護師☆	月	火	水	木	金	土
午前	△	○	○	○	△	△
午後	△	○	○	○	△	△
☆理学療法士☆	月	火	水	木	金	土
午前	△	△	△	△	△	×
午後	△	△	△	△	△	×
☆作業療法士☆	月	火	水	木	金	土
午前	△	△	△	△	△	×
午後	△	△	△	△	△	×

誰もが心地よく過ごせる地域づくりは、私たち一人ひとりの気づきから始まります。小さなやさしさが、大きな力になります。

今月のつぶやき

今月のテーマ：年末のご挨拶

今月の担当者：スタッフ一同

本年も格別のご支援とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

本年もあいあーる訪問看護ステーションに対し、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。2025年を振り返りますと、利用者様やご家族の思いに触れるたびに、多くの気づきと学びをいただいた一年でした。

また、医療機関・地域包括支援センター・ケアマネジャー・多職種の皆様には、日頃より丁寧な連携とご助言を賜り、より質の高い支援へと繋げることができました。

地域の中で共に支え合う一員として歩ませていただけたことに、あらためて深く感謝申し上げます。

おかげさまで、あいあーる訪問看護ステーションは2026年1月28日をもちまして開設2周年を迎え、3年目になります。

まだ若いステーションではありますが、皆様に支えていただきながら、一歩ずつ地域に根ざした役割を育んでまいりました。こうして節目の年を迎えるのも、日々関わってくださる皆様のお力添えあってのことと、心より御礼申し上げます。

来年も、利用者様お一人おひとりの「その人らしさ」を大切にし、安心して暮らしを続けられる地域づくりに貢献できるよう、スタッフ一同さらなる研鑽に努めてまいります。

看護の質向上はもちろん、多職種との連携をより密にし、訪問看護として果たすべき役割を丁寧に積み重ねてまいります。年末のご多忙の折ではございますが、どうぞお身体ご自愛のうえ、穏やかな新年をお迎えください。来る年が皆様にとって健やかで、実り多い年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



今年
お世話
になりました

あいあーる合同会社

あいあーる訪問看護ステーション

〒784-0004

高知県安芸市本町2丁目4番9号



0887-37-9825

